

# 和光の緑と湧き水だより Verda 129号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年7月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)  
身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>

## 一日巡検 都市部の身近な自然と歴史を訪ねて・・・報告版

-和光市～成増の湧水・自然環境保全- 2013年6月29日(土)

お茶の水女子大学地理学科 長谷川直子准教授、地理学科1年～3年の学生 6名  
NPO法人 和光・緑と湧き水の会 (お茶大地理卒2回生在籍) 代表高橋、9名 (案内・講演)

上記大学の長谷川准教授より依頼され、当会との数回の打ち合わせにより、地理学科の授業の一環として当会が案内する和光市の巡検が実現、白子コミセンで高橋勝緒氏が講演を行いました。

**巡検の概要** 成増～和光には多くの湧水が存在し、地層が見える露頭から湧き水がわいています。またこの環境に適した貴重な植物も残されています。当会では、これらの地理的に特徴のある和光の環境を保全し伝える活動を行っています。今回は、地理学の巡検として、このような地勢と生態系の関連を現地で案内をすることが出来ました。また市内には、民家園、白子宿など歴史的スポットも残されています。都市周辺にあって、自然環境と歴史が残る和光の特徴を現地で見て、体感してもらいました。活動に当たっては、行政や地域との協働、協力で活動を進めていく当会の保全姿勢についても紹介しました。

**行程:** 和光市駅集合・午前の部——漆台の湧水 (カタクリ、ニリンソウなど植物群落) ——新倉ふるさと民家園 (埼玉県で最も古い民家の移築展示) ——熊野神社 (不動の滝、富士塚、官営マスの養魚場跡) ——白子湧水群・富沢湧水 (湧き水のれき層と粘土層の露頭が見られる、現在も生活に利用されている様子を見学) ——白子湧水群・大坂ふれあいの森 (関東ローム層、湧き水に関する斜面林の生態系、保全活動で生物多様性を守る) ——白子コミュニティセンター (昼食)  
午後の部 NPO 活動の講演会: 高橋勝緒氏「和光市の自然地理と都市部の自然保護」  
14:00 出発——白子地区滝坂——地福寺 (馬頭観音、湧水利用、白樫の巨木) ——白子橋 (湧水流出) ——新田坂——成増商店街・解散



地理学科2期生の坂井さん。漆台の洗い場跡・春にはカタクリの群落。庚申塔の前で。民家園の歴史について



神社の池は満面の湧水。石組み水路には湧水の流れ。富沢湧水のれき層と粘土層。大坂ふれあいの森に佇む



高橋氏講演「和光市の自然地理と都市部の自然保護」  
都市部の湧水緑地の大切さを知り、生き物ともふれあえる環境を残す保全や行政と地域の協働について意見交換

コミセンを後にして地福寺へ。板橋の新田坂へ成増の繁華街通りにてコーヒーブレイク・解散